

喜びは励みに



長老
平 和彦さん

ある日の出来事、私は、目がくらむようなビルが立ち並ぶ関東地方のある町に、車を納車に行ってきた。私は、車を運ぶ陸送会社に勤めています。その仕事は、今年、都会に就職した息子に宮城の実家の親から、車を届けるという事でした。道に迷いながらも地図と電話連絡で無事に車を届け、少し話しをしていたら、その人が私の言葉の

なまりが懐かしいとつぶやいてくれたので、「車で、車届いだって父ちゃんさ、電話すらいよ。ごーもでしたー。」普段は使わない言葉を言って帰ってきました。隣は何をする人ぞ、などと、近隣の交流が乏しい現代社会の中で、自分が生まれ育ったこの地は、この言葉があてはまらないと信じています。結びつきが、豊かな人間形成に通じるものだと思います、これからの人生を純粋に、そして世代を超えた人間関係を、大切にしていきたいと思えます。

私のひとこと



関
村上 智昭さん



▲マウンテンボード

5月より(有)はあとリゾート・七ヶ宿スキー場に勤務しております。大学進学後就職し、仙台の生活が10年ほど続きました。いつかは、七ヶ宿へ帰りたいという気持ちはあったものの、仕事がないというのが現状でした。仙台にいるスキー仲間とよく話しをしました。皆七ヶ宿が大好きで帰りたい。だけども・・・といった具合です。

しかし、後輩でもあり一緒にスキーで闘っている八島君が農業を勉強するということまで七ヶ宿へ戻りました。それに刺激を受けていたころへスキー場よりお話を頂き、私も帰る事ができました。

なぜ、七ヶ宿に帰りたいのか。ここには、尊敬できる先輩や仲間がいるからです。私が生きていく上での見本となる方々がたくさんいるからです。現に、前職場の時、登山とスキー用品を販売していました。七ヶ宿出身ということ、多くのお客様から信頼して頂く事ができたのです。今後は、より多くの方々に七ヶ宿へ来て頂き、ここにしかない魅力を感じてほしいです。

カントリーロード

議会だよりにご意見をお寄せください。

広報特別委員会では、より良い議会だよりを目指しております。

お気軽にご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

◆連絡先 七ヶ宿町議会事務局◆

☎ 37 - 2197 FAX 37 - 2198

6月定例会の傍聴者は延べ24人でした。議会傍聴は、住所と氏名を記載していただくだけで面倒な手続きは必要ありません。

次回の定例会は、8月中旬を予定していますので、多数の傍聴をお待ちしています。